

Un film de
Patrice Leconte

mon meilleur ami
Daniel Auteuil Dany Boon

Fidélité présente
en association avec Wild Bunch

あなたは親友と呼べる友達がいますか？



ぼくの 大切なともだち

パトリス・ルコント最新作

製作:フィデリテ 監督・脚本:パトリス・ルコント 出演:ダニエル・オートゥイユ、ダニー・ブーン、ジュリー・ガイエ 音楽:グザヴィエ・ドゥメリアック 撮影:ジャン＝マリー・ドルージュ プロデューサー:オリヴィエ・ダサット、マルク・ミュツツ

配給:ワイスポリシー 提供:ワイスポリシー/CCRE 協力:ユニフランス東京 <http://www.wisepolicy.com/> WISEPOLICY CCRE FIDELITE LUCKY RED CANAL+  

果たして自分には“親友”と呼べる友人が何人いるだろう？

自分が親友だと思っていなくても、

相手は単なる仕事上の関係だと思っていたり、またその逆もしかり。

ひょっとしたら相思相愛の親友関係の方が
恋愛より難しいのかも？



シンプルゆえに非常に深い人生のテーマを名匠パトリス・ルコント監督が
「タンDEM」「列車に乗った男」に続き、男の友情を心に染み入る演出で描く胸打つ感動作。

人生半ばを過ぎて、ふと自分が孤独である事に気付く二人の男が、
偶然の出会いから、不器用ながらも友情を育ててゆく。果たして二人は本物の“親友”になれるのか…。

たっぷり笑わされて、最後にホロリ。

観終わった後、あなたの心に浮かぶ“大切なともだち”は誰ですか？



君にとって
僕は沢山いるキツネの1匹
でも互いになじめば
大事な存在となる
君は僕のたった1人の人
僕は君のたった1匹のキツネ

—サン＝テグジュペリ「星の王子さま」より
Le Petit Prince - Antoine de Saint-Exupéry

ぼくに、
友達の作り方を
教えてくれないか？

美術商のフランソワ(ダニエル・オートウイコ)は意気揚々としていた。
オークションで狙っていた紀元前5世紀に作られたギリシャの壺を落札できたからだ。
足取りも軽く自分の誕生日のディナーへ出かける。その中の会話で自分の顧客の葬式の話をする。
フランソワ。「参加者がたったの7人。寂しいもんだね。」
ところが、そこにいた全員から「お前の葬式にはだれも来ないよ。」という強烈な一言。
理由は簡単“ともだち”がいないから…。
ショックを受けたもののこのまま引き下がる訳には行かないフランソワは10日以内に“親友”をつれて
くるという賭けをする。賭けの対価は落札したばかりの高額なギリシャの壺。
さあ、大変!思い当たる友人をリストアップし訪ね歩くが、彼らの答えは「お前を覚えていない」「友人と
思った事がない」「借金の申し込みか？」と散々。“親友”って何だ?の疑問に苛まれる。そんなある日、ふ
としたきっかけで出会ったタクシー運転手、ブリュノ(ダニー・ブーン)の客あしらいの親しみやすさを
目の当たりにして、思わず叫ぶ「あなたみたいにになりたい。誰とでも仲良くできるコツを教えてください!」
こうしてフランソワとブリュノの“ともだち”作りのレッスンは始まるのだが…。

ぼくの
大切なともだち

監督・脚本:パトリス・ルコント「橋の上の娘」「列車に乗った男」
出演:ダニエル・オートウイコ「橋の上の娘」「あるいは裏切りという名の犬」
ダニー・ブーン「戦場のアリア」 ジュリー・ガイエ「メトロで恋して」
オリジナルサウンドトラック「ぼくの大切なともだち」ブラントンより3月中旬発売予定
配給:ワイスポリシー 提供:ワイスポリシー/CCRE 協力:ユニフランス東京

6/14(土) “ともだちいっぱい”ロードショー!

(* “BEAUCOUP-TOMO ぼくとも” = ともだちいっぱい、または親友の意)

特別鑑賞券 絶賛発売中 ¥1,500 (税込) おともだちペア券 ¥2,800 (税込) (劇場窓口のみ) [当日一般1,800円の処]

●劇場窓口でお買い求めの方に、特製ポストカードをプレゼント!

●おともだちペア券をお買い求めの方には、さらに豪華特製ファイルをプレゼント!(限定数)

毎週火曜日は皆様¥1,000でご覧いただけます。

火曜サービス
デーカスタート

渋谷・東急本店ヨコ

定員制・入替制

Bunkamura ル・シネマ

03-3477-9264 <http://www.bunkamura.co.jp>

連日 10:55 | 13:05 | 15:15 | 17:25 | 19:35

Bunkamuraを支援するオフィシャルパートナー

onion 日産自動車 KIRIN HITACHI 東武グループ